

■伊達綱宗 仙台藩主。不行跡で隠居となり(伊達騒動発端)、以後、50年趣味の世界に生き、広範囲に異才を発揮した。

だてつなむね

寛永飢饉始・1640＝

陸奥国仙台城で、2代藩主伊達忠宗の六男に生まれる。母は公家榊原氏出身の側室貝姫。後水尾天皇の後宮に入り、多くの皇子・皇女を授かったのちの建春門院が長姉だったことから、後西天皇とは従兄弟。

家光鎖国完成1641＝1歳：

生後まもなく、母が死去したため、父の正室振姫の子として育てられ、

慶安御触書・1649＝9歳：

徳川家光没・1651＝11歳：

13上の兄が急逝したため、世継となり、

新利根川完成1654＝14歳：元服し、將軍の偏諱を賜って、綱宗と名乗る。

大酒と風流数奇の性格がはなはだしく、

明暦の大火・1657＝17歳：

人身売買禁止1658＝18歳：父が死去して、襲封し、忠宗の靈廟「感仙殿」造営と、幕命による、江戸小石川の堀割普請に着手するが、

朱舜水帰化・1659＝19歳：義母振姫も死去した上、江戸で嗣子が誕生すると、

・・・・・・1660＝20歳：*伊達家安泰を望む池田光政ら親類大名の陰謀で、不行跡を理由に、幕府から逼塞を命じられ、「伊達騒動」の発端となる。

以後、生涯を江戸品川邸で過ごし、不行跡を深く反省し、諸芸に励んで、伊達の伝統文化に彩りを添えて行く。とくに、蒔絵・彫刻・陶芸に長じ、国包に学んで刀剣をつくるなど、広範囲にわたって異才を発揮、品川屋敷の障子をオランダ製ガラスで張るなど、奇抜な趣向は語り草となる。

酒井忠清大老1666＝26歳：

入鉄砲出女令1667＝27歳：

・・・・・・1676＝36歳：

徳川綱吉將軍1680＝40歳：

八百屋お七・1683＝43歳：剃髪し、嘉心と号したが、

堀田正俊暗殺1684＝44歳：

出世景清初演1685＝45歳：

生類憐令始・1687＝47歳：

芭蕉+師宣没 1694＝54歳：水戸藩主徳川光圀から、4代藩主綱村宛てに、不行跡の改まらないという諫言状が出されるなど、

生類憐令頂点1695＝55歳：

特異な性格は変わらないまま、

赤徳浪士切腹1703＝63歳：

徳川綱吉没・1709＝69歳：

冥途の飛脚・1711＝71歳：没した。

「靈昭女」が仙台市文化財に指定されるなど、絵画の力量は専門絵師並であった。

「江戸大名の晩年と隠居」、